

(別紙様式1)

令和2年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名：福岡県  
農業委員会名：みやま市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和2年3月31日現在)

1 農家・農地等の概要

	農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)
総農家数	1931	農業就業者数	2774	認定農業者	416
自給的農家数	535	女性	1334	基本構想水準到達者	33
販売農家数	1396	40代以下	464	認定新規就農者	17
主業農家数	580	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	34
準主業農家数	221			集落営農経営	0
副業的農家数	595			特定農業団体	
※ 農林業センサスによる				集落営農組織	
				※農業委員会調べ	

単位:ha						
	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	3070	1060				4130
経営耕地面積	2933	821	149	672		3754
遊休農地面積	13	12	8	4		25
農地台帳面積	3122	1547	1111	436		4669

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入  
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会 任期满了年月日 R 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数								
認定農業者	—							
女性	—							
40代以下	—							

新制度に基づく農業委員会 任期满了年月日 R 4年 7月 1 9日

	農業委員			定数	実数	地区数
	定数	実数				
農業委員数	19	19	農地利用最適化推進委員	19	19	19
認定農業者	—	13				
認定農業者に準ずる者	—	4				
女性	—	3				
40代以下	—	0				
中立委員	—	1				

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	4130ha	2831ha	65.64%
課 題	法人化した組織の高齢化による労働力を、どう確保するかが課題である。		

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積	3000ha	(うち新規集積面積	50ha)
	目標設定の考え方:5年間で集積率80パーセントを目標とするため			
活動計画	人・農地プラン会議等で担い手への農地集積を図るよう促す。			

Ⅲ 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数	元年度新規参入者数
	5経営体	2経営体	2経営体
	29年度新規参入者が取得した農地面積	30年度新規参入者が取得した農地面積	元年度新規参入者が取得した農地面積
	3.2ha	1.4ha	1.8ha
課 題	就農後の安定的な農業経営のための支援策の検討。		

2 令和2年度の目標及び活動計画

参入目標数	2経営体	参入目標面積	2.0ha
活動計画	新規就農者の就農後の相談会等の開催。		

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	4130ha	25ha	0.61%
課 題	所有者、管理者が高齢化により、特に山間地における農地の管理が難しくなっている。		

2 令和2年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 5.0ha		
		目標設定の考え方:遊休農地の解消は、年々厳しくなっているが、昨年と同じ目標で設定。		
活動計画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)		調査実施時期
		38人		8月～9月
		調査結果取りまとめ時期		
	農地の利用意向調査	調査方法	10月～11月	
			農業委員、農地利用最適化推進委員を班分けし、担当区域内を目視により調査。	
	その他	実施時期		調査結果取りまとめ時期
		12月～12月		1月～2月

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	4130ha	0.34ha
課 題	長年の違反転用者に対する解消への理解が厳しいものとなっている。	

2 令和2年度の活動計画

活動計画	8月、9月の利用状況調査時と同時に違反転用調査を行う。
------	-----------------------------